

みんなのぎかい

すもと市議会だより

2020.4.15 Vol.55

あの鐘を鳴らすのは？

重点道の駅に選定された高田屋嘉兵衛公園

表紙写真募集！

市内で撮影された風景、イベント等の写真で表紙を飾りませんか？応募方法などについて、詳しくは12ページまたは市議会ホームページをご覧ください。

CONTENTS

3月定例会市議会の概要・討論…(2)～(4)	姉妹都市交流・表紙写真の募集……………(12)
議会日程・議決結果……………(5)	所管事務調査……………(13)
代表質問……………(6)～(7)	市政調査・議員研修・編集後記……………(14)
一般質問……………(8)～(12)	視察の受け入れ・政務活動費と議会交際費……………(15)
	就任あいさつ・新しい議会構成……………(16)



万円の当初予算を可決

3月定例市議会

2月21日に告示された定例市議会では、令和2年度当初予算や、新型コロナウイルス感染症対策などを含めた令和元年度補正予算などの審議が行われ、40件中5件は賛成多数、その他は全会一致で可決されました。24日に議会の新体制を決める役員改選などを行い閉会しました。

今回の議案などは

● 令和2年度予算	12件
● 令和元年度補正予算	10件
● 条例改正・契約など	13件
● 市道認定など	3件
● 人事案件	2件

予算審査特別委員会

つながり基金

Q 助成事業をさらに応募しやすいように、期間の延長や対象の拡大などに取り組んでは。

A〔情報部〕現在、6つの柱があり、それぞれに補助率や限度額、応募回数を定めている。今後は要望内容も参考にしながら、申請回数や補助率などの見直しを行っていきたい。

域学連携事業

Q 連携大学を増やすことが課題とのことだが、新たに参加が見込める大学はあるのか。

A〔情報部〕これまで7校が参加しているが、現在、大正大学と神戸学院大学

とも協議しているので、ぜひ参加していただきたいと考えている。

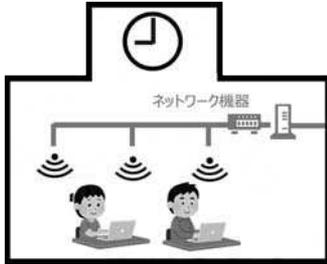


つむぐファイル

Q 事業内容は。

A〔福祉部〕障がい児や支援の必要な児童のライフステージに応じて、大切な情報が途切れることがないよう、切れ目のない支援を目的に、保護者が支援機関に提示するファイ

総額421億8,974



【事業名】
GIGAスクール関連
【事業費】2億2,460万円
【内容】
大容量通信が可能な校内通信ネットワークなど

予算の主な内容

- 【令和元年度補正関係】
- 学校改修費関連 7,363万円
(第二小エレベータ改修、中川原小トイレ改修)
- 【令和2年度予算関係】
- 発信拠点施設事業 4,800万円
 - みなとにぎわいプロジェクト事業 1,500万円
 - 総合福祉会館改修事業 8,000万円
 - 高田屋公園道の駅基本計画事業 500万円
 - 路線バス利用促進事業 660万円
 - ため池整備事業 2億1,154万2千円
 - 炬口ポンプ場等整備事業 1億4,700万円
 - FM告知端末整備事業 5,000万円
 - 災害時要援護者台帳整備事業 1,000万円
 - 小学校外国語教育充実事業 319万3千円

【事業名】新型コロナウイルス関連対策

【事業費】720万円
【内容】
認定こども園や保育所(園)へのマスク支給など



【事業名】洲本城魅力再生伐採

【事業費】800万円
【内容】
洲本城跡の石垣を覆いつくしている樹木を伐採し、山城としての魅力を高める



ALTTの増員

ALTT(外国語指導助手)の授業頻度は、
 (A)〔教育委員会〕小学校では20時間増える。5、6年生は週に2時間、3、4年生は週に1時間だが、更新・新規ALTTの着任が8月であり、すべてに入ることとはできない。

ALTTの増員

ALTT(外国語指導助手)の授業頻度は、
 (A)〔教育委員会〕小学校では20時間増える。5、6年生は週に2時間、3、4年生は週に1時間だが、更新・新規ALTTの着任が8月であり、すべてに入ることとはできない。

洲本城跡の整備

Q 基本計画の範囲は。
 (A)〔教育委員会〕登り石垣部分を含む、史跡指定の範囲である。

Q 茶屋の改修計画は。

(A)〔産業振興部〕国の史跡に指定されており規制があるが、休息場所として修繕していきたい。今後どこをどう直すか調査していく。

空き室が目立つ市営住宅の活用

Q 公営住宅の空き室に対する募集は。

(A)〔都市部〕2か月に一度、広報紙やホームページ、データ放送で定期的お知らせしている。また募集がない場合は随時募集している。

議案審査

犯罪被害者等 支援条例

Q 財政上の支援とは。

A〔総務部〕洲本市犯罪被害者等支援金支給要綱を制定し、犯罪被害者等遺族支援金として30万円、重症病支援金として10万円を支給するように考えている。

赤レンガ建物 リノベーション事業

Q プロポーザルの提案内容は。

A〔企画部〕リノベーション工事の目的は、赤レンガの外観や構造を生かした改修を行い、住民だけでなく観光客を含め洲本市を訪れる人々が「島で暮

らす喜びをシェアできる場所」として再生し、中心市街地に賑わいと人々の交流の創出を目的としている。

基本プランでは、赤レンガ建物の内部は4つのゾーンに区分する。「島の豊富な美食をシェアするゾーン」、「島と暮らしと子育てをシェアするゾーン」、「モノ作り環境をシェアするゾーン」、「島での働き方や活動をシェアするゾーン」を検討しており、周辺施設との連携も考慮していきたい。

認定こども園運営

Q 事業費の予算減額の要因は。

A〔福祉部〕国基準の人員は確保しているが、年度当初に予定していた保育士の人員が確保できなかったため減額している。

ICT教育

Q 加茂小学校長が受賞した内容は。

A〔委員会〕平成31年度日教弘教育賞最優秀賞を受賞した。全国約2000件の論文応募の中から選ばれ、論文のタイトルは「Society 5.0を生き抜く資質・能力の育成」である。



エコプロジェクト

Q バイオマス関連予算が減額されているのは。

A〔産業部〕申請をしなかった。購入が予定より少なかったのは。

A〔産業部〕本市が取り組もうとしていた内容と、国の補助内容がそぐわなかった。今後の検討課題として取り組んでいく。

プレミアム商品券

Q 購入が予定より少なかったのは。

A〔産業部〕申請をしなかった。購入が予定より少なかったのは。

討 論

第3号議案 予算

反対 間森和生(日本共産党)

待機児童が出たことは残念、早期解消を求める。深日洲本航路の社会実験は3年目だが、民設民営は見通せない。「港のにぎわい」施策の見直しが必要では。公共交通の空白地域の解消、公共下水道への接続率の向上を求める。

議案第4号、9号、10号、22号

反対 近藤昭文(日本共産党)

高すぎる国民健康保険税をはじめ、介護保険料、後期高齢者医療費など、市民に負担増を求めるのではなく、国庫負担を減らしてきた国に対して、国庫負担の引き上げや社会保障制度の改善を、強く要望していただきたい。

議会日程

2月21日	告示 常任委員長会	3月17日	教育民生常任委員会
2月25日	議会運営委員会	3月18日	総務常任委員会
	議会報編集特別委員会	3月23日	本会議第5日 (討論、採決)
2月28日	本会議第1日 (提案説明)		議会運営委員会
3月6日	本会議第2日 (代表質問 4会派)		総務常任委員会
3月9日	本会議第3日 (一般質問 5議員)	3月24日	本会議第6日 (役員選挙)
	議会運営委員会		教育民生常任委員会
3月10日	本会議第4日 (一般質問 4議員)		総務常任委員会
3月11日	予算審査特別委員会		教育民生常任委員会
3月12日	予算審査特別委員会		産業建設常任委員会
3月13日	予算審査特別委員会	4月6日	議会運営委員会
3月16日	産業建設常任委員会		議会報編集特別委員会

予算審査特別委員会 要望事項

1. 洲本市国土利用計画は、本市における土地利用の基本的指針であり、今後10年の洲本のありようを適切に見定めた上で策定されたい。
1. 公共施設の再編・統合にかかる個別計画等については、速やかに策定し、持続可能な行財政運営につなげられたい。
1. 本市の人口減少問題を考慮して、安心な子育て環境の充実が必須である。そのためにも速やかに待機児童の解消に努力されたい。

3月定例市議会 議決結果一覧

賛否のわかれた議案

※議長(木下義寿)は表決には加わらない。
しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。
○は賛成、×は反対、欠は欠席。

提出者	件名	議員名	議決結果	近藤昭文	間森和生	中野睦子	小野章二	高島久美子	清水茂	柳川真一	小松茂	片岡格	狩野揮史	先田正一	笹田守	木戸隆一郎	上田昌孝	地村耕一良	福本巧	氏田年行	
市長	議案第3号 令和2年度 一般会計予算		原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	議案第4号 国民健康保険特別会計予算		原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	議案第9号 介護保険特別会計予算		原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	議案第10号 後期高齢者医療特別会計予算		原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	議案第22号 国民健康保険条例の一部改正		原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全員賛成の議案等

提出者	件名	提出者	件名
市長	議案第5号 由良財産区特別会計予算	市長	議案第26号 固定資産評価審査委員会条例の一部改正
市長	議案第6号 納、鮎屋財産区特別会計予算	市長	議案第27号 市道路線の認定(下内膳五反田線)
市長	議案第7号 令和2年度 塚財産区特別会計予算	市長	議案第28号 市道路線の認定(洲本川堤防支線)
市長	議案第8号 CATV事業特別会計予算	市長	議案第29号 市道路線の変更(風野線)
市長	議案第11号 介護サービス事業会計予算	市長	議案第30号 教育委員会委員任命
市長	議案第12号 駐車場事業会計予算	市長	議案第31号 人権擁護委員候補者の推薦
市長	議案第13号 下水道事業会計予算	市長	議案第32号 一般会計補正予算(第5号)
市長	議案第14号 土地取得造成事業会計予算	市長	議案第33号 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
市長	議案第15号 職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正	市長	議案第34号 CATV事業特別会計補正予算(第2号)
市長	議案第16号 職員の給与に関する条例等の一部改正など	市長	議案第35号 介護保険特別会計補正予算(第3号)
市長	議案第17号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	市長	議案第36号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
市長	議案第18号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	市長	議案第37号 介護サービス事業会計補正予算(第2号)
市長	議案第19号 犯罪被害者等支援条例制定	市長	議案第38号 駐車場事業会計補正予算(第1号)
市長	議案第20号 手数料条例の一部改正	市長	議案第39号 下水道事業会計補正予算(第3号)
市長	議案第21号 スtockヤードの設置及び管理に関する条例の一部改正	市長	議案第40号 土地取得造成事業会計補正予算(第2号)
市長	議案第23号 市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	市長	議案第41号 赤レンガ建物リノベーション事業工事等請負契約締結
市長	議案第24号 市営特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	市長	議案第42号 令和元年度 一般会計補正予算(第6号)
市長	議案第25号 定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正		

1月臨時市議会 議決結果一覧

全員賛成の議案等

提出者	件名
市長	報告第1号 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
市長	議案第1号 一般会計補正予算(第4号)
市長	議案第2号 ふるさと洲本もともとと応援基金条例の一部改正

※表記は、正式な名称ではありません。議会内の人事に関する案件は除いています。

議会日程

- 1月16日 告示 常任委員長会
- 1月20日 議会運営委員会
- 1月22日 **本会議第1日**(提案説明、採決)
- 総務常任委員会
- 教育民生常任委員会

人口減少を少しでも緩和する施策は重要な課題。議論を続けていこう

施政方針

Q 高田屋嘉兵衛公園が重点道の駅として認定された。全国の道の駅の課題として、季節ごとの売上高などの偏り、バリアフリーに対応できていない事例、設置した市などから財政支援が無ければ運営が困難な事例などが指摘されているが、どう対応するか。

A 「市」年間を通じた売り上げの確保、園内施設の見直しによる市の負担軽減、バリアフリー化などについて、議員のご指摘を踏まえて取り組んでいく。



Q 島内3市中、最少の人口になったことへの市長の感想は。

A 「市長・企画情報部」人口減少は事実だが、

代表質問

宙(おおぞら)

小松(こまつ)

茂(しげ)

本市が果たしてきた淡路島の政治・経済・文化・社会などの中核的役割や機能が損なわれたり、市民生活が不便になることが無いよう、行政機能の維持、確保に努める。

教育行政方針

Q 各種公共施設の4割が教育委員会所管とのこと。再編の必要は大きいと考えます。

A 「教育長」学校の使命は、児童・生徒の教育が第一であり、そのために教育環境を整えるべきと考えます。洲本市学校教育審議会で検討していただき、その答申を踏まえて保護者や地域の人たちと協議を重ねながら進めていく。

危機的状況になりつつある財政。健全化に向けた取り組みの加速を

代表質問

「志」(こころざし)

木戸隆一郎(きど ちゅういちろう)

Q 子どもを預ける保護者にとって、放課後児童クラブは放課後に学校内、もしくは同一敷地内で行うことが安全で安心と考える。実施をさらに推進しては。

A 「市」適当な余裕教室はないが、設置可能な学校施設があれば利活用に努めたい。

Q 保育ニーズの高まりに対応するには、保育士の確保が重要。二ブスへの対応状況と、保育士の確保は。

A 「市」3月1日で12名の待機児童が発生している。保育士の経験者採用枠を広げ、非正規保育士の処遇改善を図るなど、手段を尽くして確保に努めていく。

Q 財政収支見通しでは、2年後の令和4年度において財政調整基金が枯渇し収支不足が発生する

とから、非常に危機的状況であるといえる。

A この収支見通しでは、前提条件として、公共施設適正化による統廃合・整備・転用などの方針に従って、必要となる経費を反映して試算されている。

Q 父子参加型のイベントや事業をとおして、男性の育児参加をさらに推進しては。

A 「市」全く可能性がないわけではない。令和4年度から赤字になることから、さらなる歳入確保、歳出削減の取り組みが必要と認識している。



Q 財政収支見通しでは、2年後の令和4年度において財政調整基金が枯渇し収支不足が発生する

A 「教育長」(統)おやじプロジェクトなど、育児に参加できる場の提供に努めている。参加型から役割と出番のある事業づくりについても検討していく。



比較では、1
成29年度との
広域化前の平
額となるが、
800円の増
年間で4万1
試算すると、
300万円で
人・所得金額

教職員の多忙化解消へ、増員も含め 具体的な改善・指導を

Q 大雨などの災害で避難する時に利用する狭い道路や、水路などの危険な箇所
の対策要望に対し、行政としての対応は。

A 「市長」危険性や緊急度を判断し、対応できるものから対応する。

Q この度の国民健康保険税の改正条例案では、市民に大幅な引き上げとなるのではないかと。標準的な世帯ではどの程度の負担増か。

A 「市長」県が示す一人当たりの保険税額が対前年度比15.4%の増額となるものを、基金の活用により9.9%に抑制した。4人世帯・有業者1

万7100円の増額である。医療費が毎年3%程度増加している状況下で、被保険者の負担を抑えることが出来ていると考える。国にも財政支援の方策を強く求めていく。

Q 淡路島中央スマートインターチェンジ周辺の利活用は。

A 「市長」民間活力による事業展開を期待している。これまで民間事業者の進出の動きはあったが、実現に至っていない。引き続き事業者の動向に注視していく。

Q 教職員の皆さんは児童・生徒たちの健やかな成長を願って日々奮闘されているが、業務が多忙化しているのではないかと。抜本的改善には増員しかないと思うが、具体的な改善・指導は。

A 「教育長」現場の教員からの声は、各校の校長が聞き取り、適切に指導助言を行っている。予算措置を伴うものは、教育委員会を検討し、適切に対応している。

代表質問

日本共産党

近藤 昭文
こんどう あきふみ



Q 「重点道の駅」高田屋嘉兵衛公園の今後の計画は。また防災拠点兼ね備えた道の駅としての整備は。

さらなる幼児教育・保育の充実を

施政方針

Q 幼児教育・保育の無償化における今後の改善は。

A 「市長」国の動向を注視し、子育て環境の充実に取り組んできたが、今回、待機児童が生じた。今後、保育士の確保を図り、保育施設の開設など民間事業者と連携し待機児童解消に努める。

Q 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、本市独自の支援策は。

A 「市長」現在、独自の支援策は講じていないが、今後の事態や地域の状況を見きわめる。

A 「副市長」淡路島西海岸の活性化、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」のPR、サイクルツーリズムの振興、子育て、田舎暮らし応援などを重点に、順次整備。早ければ令和3年度内のオープンを目指す。「防災道の駅」については、情報収集を行い、検討を進める。

Q 洲本城周辺の環境整備は。

A 「市長」令和2年度は、東の丸から武者だまりにかけて樹木伐採を計画。茶屋については、維持修繕を行い利活用が可能か検討する。

教育行政方針

Q GIGAスクール構想への取り組みは。

A 「教育長」国の補正予算による有利な財源を活用し、大容量通信が可能な校内通信ネットワークへの更新整備を進め、順次、1人1台端末の整備に取り組み、ICT教育に努める。

代表質問

公明党

先田 正一
さきた しょういち



子どもたちに
よりよい教育環境を！

清水 茂 (宙)

小中連携、
一貫教育の推進

Q 小中一貫教育の制度とは。

A 小中連携教育を
発展させ、小学校
入学から中学校卒業ま
での9年間を見とおし
て、子どもたちに系統
性・連続性のある教育
を施すものである。

Q 小中一貫教育の
導入検討は。

A 現時点で導入は
考えていないが、
導入の検討については、
各学校の課題を見極め
たうえで、一つの選択
肢として検討する余地
があると考えている。

(教育次長)

小学校の教科担任制

Q 教科担任制とは。

A 教科ごとにその
免許状を有した教
員によって授業が行わ
れる教授組織のことで、
主に中学校や高等学校
で採用されている。

(教育次長)

小学校教科担任
制の導入検討は。

Q プログラミング、
外国語教育など、

A より高い専門性が求め
られる内容が小学校で
導入されていること、
子どもの発達が早くなっ
てきている現状を踏ま
え、導入を検討するべ
きタイミングが近いと
認識している。(教育次長)

公共施設の再編

Q 公共施設の再編
内容や削減率は。

A 全施設のうち存
続は159施設、
廃止は63施設になる。
今後10年間の削減率
は、床面積で9.69%
削減できる計画である。

(理事)

Q 再編を進めるに
あたり除却する施
設や、再編・統廃合な
どを進める施設につ
いて、市民の意見を聞
くのか。

A 再編検討委員会
での議論、議会の
意見、パブリックコメ
ントなどで市民の声を
反映した個別計画の策
定に努めたい。(理事)

Q 五色地域の保育
園を集約化する場

地元の活性化につながる
「道の駅」高田屋公園に

間森和生 (日本共産党)

合、0歳児保育の推進・
病後児保育の実施・子
育て相談センターの設
置など、地域の子育て
の拠点となるようなこ
とを考えているか。

A 集約化が決定さ
れば、検討して
いきたい。

(健康福祉部長)

Q 高田屋
嘉兵衛公
園の「道の駅」
選定に、地元
の期待も大き
いが。

A 地域活
性化のた
めに、商工会・
農業・漁業関
係者などと一
緒に盛り上げ
ていきたい。

(産業振興部次長)

学校教育の課題

Q ALT (外国語
指導助手)の確保は。

A 小学校ではAL
T1名を増員して
4名体制となる。

(教育長)



小・中学校の「学び」のつながりを目指して

出典：兵庫県教育委員会



▲集約化が提案されている五色中央公民館



誰一人として取り残さない
しあわせ社会を目指して

狩野 揮史 (公明党)

※SDGsに沿った
計画づくりの検討を

Q 持続可能な開発
目標、SDGsの実
現に自治体の果たす役
割とは。

A 市民福祉向上の
ため、行政サービ
スをおおして安全・安
心で暮らしやすい生活
環境の実現を図ってい
く。その成果を一つひ
とつ積み重ねることが、
SDGsが掲げる目標に
寄与するものと考えて
いる。(企画情報部長)

Q 「兵庫2030年
の展望」の「20
30年の生活シーン」
に記載されているよう
な未来の農業像を実現
していくに当たり、バツ
クキャストによる思考法を
用いると、ど
のような課題
と解決方法が
考えられるか。

A 一例を
挙げるよう
2030年時
点では農業者
が更に減少し、
相続手続きが
行われない農
地が増えるよう

Q 戦略」に反映させるこ
とで、広く市民などこ
も認知いただけるよう
に努めている。

A 「産業振興部次長」
の「SDGs
国連の持続可能な開発目標
として「気候変動に具体的
な対策を」「つくる責任、
つかう責任」など17項目

Q 集約化やほ場整備が難
しくなることが考えら
れる。平素から相続手
続きの啓発などに取
組む必要がある。

A (企画情報部長)

Q 本市の人口が島
内最少になったこ
とについて。

A 人口減少によっ
て、本市が淡路島
の政治・経済・文化・
社会などで果たしてき
た中核的な役割や機能
が損なわれないよう、
行政機能の維持確保に
努めることが肝要であ
る。(企画情報部長)

Q 本市の人口が島
内最少になったこ
とについて。



▲SDGsは国際社会共通の目標です

洲本の未来



今こそ、危機感を持って!

中野 睦子 (志)

予防や防災教育の啓発
活動に期待している。

Q 新型コロナウイ
ルスへの本市の対
策は。

A イベントなどの
延期や中止を決定。
手洗いや咳エチケット
の有効性など、
国・県などが
らの正しい情
報の提供と、
注意喚起によ
る蔓延防止に
努める。

Q 今後の方向性は。

A 洲本市公共施設
等再編整備検討委
員会にて指定管理者制
度導入案も含め、各施
設の状態や特性に応じ、
検証を行っている。

Q 公共施
設の運営
の仕方今後
検討が必要だ
が、直営施設

Q 女性消防団員の
活動、必要性は。

A 現在10名が在籍
し、園児や高齢者
への災害予防啓発、地
域防災訓練でスタッフ
として従事するなど幅
広く活動。災害時の後
方支援、平時での火災

Q 本市の指定
管理制度

A 健康福祉部長

Q 公共施
設の運営
の仕方今後
検討が必要だ
が、直営施設

Q 女性消防団員の
活動、必要性は。



▲園児たちも「火の用心」火災予防教室にて



テクノロジーによる
洲本市の未来構築を

高島 久美子（宙）

Q 「各自自治体の首長
ほか関係者が一丸
となって、創造性を育
む教育、ICT環境の
実現に取り組んでいた
だきますようお願い申
し上げます。」との文部
科学大臣の
言葉を受け、
市長の考え
は。

ただけるような状況を
つくっていききたい。

えては。

A 先行事例を参考
にしつつ、市民の
皆さま、路線バス事業
者、タクシー事業者、
商業事業者、国・県な
どの関係機関とも調整
しながら検討を図りた
い。

Q 小回りのきくA
ー運行バスを、生
活のため、また観光の
ために利用・導入を考

（企画情報部長）

Q 今回の新型コ
ナウィルスのような
緊急事態時の周知方
法として、LINEア
プリを導入できないか。

（企画情報部長）

A 緊急事態時の周
知方法としての観
点からは、他市の導入
事例からすると、有効
性は少々低いが、行政
情報などの発信ツール
としては、利便性は高
く、サービス内容など
をさらに調査・研究し
ていきたいと考える。



▶ Aー運行バス

A パン
コングラ
末は、鉛筆
とノートと
並びマス
アイテムだ
子どもたち
の創造性を
育むICT
教育の環境
を整え、本
市で学べて
良かったな
と思ってい

（企画情報部長）



活力とにぎわいのある
安心・安全なまちづくりを

片岡 格（日本共産党）

生活の足確保

Q 公共交通空白地
域解消策の進捗は。

A 導入後に利用さ
れる環境・体制を
作っておくことが肝要
なことから、現在、地
域の皆さまと協議を進
めている段階で、整い
次第、その地域に即し
た運行形態の導入を進
めていきたい。

（企画情報部長）

Q 路線バス利用促
進事業が好評だが、
さらに利便性を高める
ため、証明書のように
カード化できないか。

（企画情報部長）

A 使い方において
利用者目線に立つ
た制度実施ができるよ
う、事業者と協議を重
ね現在の形になってい
る。利用者からの声と

して交通事業者に伝え、
さらに利便性の向上に
努める。（企画情報部長）

観光振興

Q 現在閉鎖中の足
湯の再開

A 洲本温
泉事業組
合が管理。本
市としては、
引き続き再開
を要請してい
きたい。

（産業振興部参事）

Q 三熊山
山頂の、
茶屋の活用策
は。

（産業振興部参事）

A 寄附を
いただいた
茶屋につい
ては、建造物
の状態を確認

した上で、維持修繕し、
訪れる方々がくつろげ
るような環境整備を検
討している。

（産業振興部参事）

訪れた方々がくつろげる整備が
期待される三熊山山頂の茶店



▶ 訪れた方々がくつろげる整備が
期待される三熊山山頂の茶店



「活力ある共創のまち」
実現を！

小野 章二（志）
（「志」）

つながり基金
助成事業

Q 活力ある地域づくりを自ら行うための「つながり基金助成事業」、来年度の募集は。

A 来年度も、例年どおり、補助対象の六つの事業を柱とし、多くの団体に活用いただけるよう、工夫する。
（企画情報部長）

「FC淡路島」
との連携

Q FC淡路島と連携協定を締結したが、長く本市に住んでいただく方策は。

A 地域イベントへの参画、スポーツ教室の開催など、市民と広く交流できる機会

と、本市で移住・定住するための各種情報を提供していく。
（教育次長）

移る自治体への
挑戦

Q 人口減少時代に向き合う、移る自治体への挑戦について

A 地域企業の生産性を引き上げることはもとより、公的部門も含め、まちの資源を有効活用し、サービスとして商品化することで、地域を活性化させることを目指す。
（企画情報部長）



白巢城跡、炬口城跡を
市内の名所に

笹田 守（志）
（「志」）

文化財指定

Q 白巢城跡と炬口城跡の県文化財指定までの経緯は。

A 白巢城跡は、地元町内に案内看板の設置やボランティア養成講座など、多岐にわたる活動をしていただいている。

また、炬口城跡は、地元住民会に登山道の整備など、維持管理活動をしていただいている。

市も地域住民と協働した野外講座の実施など、保存と活用の両面で取り組んできた。そして今年度、三野畑町内会長及び炬口住民会長より県指定の申請があり、兵庫県文化財審議委員による現地調査

が行われた。両城跡ともに戦国時代の淡路島を語る上で、欠くことのできない重要な文化財として、地元住民の継続的な活動実績が高く評価され、県指定史跡に指定された。
（教育次長）

Q 県文化財指定後の条例や管理制約などは。

A 兵庫県文化財保護条例の適用を受け、管理や修理に多額の経費を要し、所有者がその負担に堪えられない場合やその他特別の理由がある場合には、県の



▲県文化財に指定された白巢城跡



実効性のある避難支援の体制整備を

福本 巧 (宙)

Q 避難行動支援者名簿の活用と、名簿管理に関する取り組みは。

A 避難行動要支援者名簿の提供にあたり、協定締結により厳格な管理を行っている。現在、協定を締結した10町内会の自主防災組織では、名簿情報

を普段からの見守り活動に活用しており、今後、民生委員児童委員に加え、介護保険のケアマネージャーや、障害者相談支援員との連携に努めたい。

Q 犯罪被害者等相談窓口の運営体制は。

A 犯罪被害者のニーズは多種多様な分野に及んでいることから、被害者のプライバシーにも配慮している。相談業務は総務部消防防災課で受け付け、個々の事情に応じた適切な支援が受けられるよう、庁内の担当部署や他の機関を紹介すること

している。(健康福祉部長)

Q 炬ロポンプ施設の供用開始後の浸水未解消地区の浸水対策は。

A 陀仏川右岸部と国道28号をはさむ1.64haの低地区の浸水対策については、河川堤防内の住宅地の安全性を考慮し、現在、陀仏川河川改修とともに計画を進めている。(都市整備部長)



▲実効性のある避難支援の体制づくり

姉妹都市、徳島県美馬市と議員交流会

藤田市長、川西議長はじめ多くの方に迎えていただき、うだつの町並みを視察。見事に保存



された町並みは民間企業により新しく活用され、ふるさと大使である華道家、仮屋崎省吾さんが地元栽培の花をふんだんに生けた大規模な個展も開催されていました。藍染、阿波踊りの竹細工、和傘と、伝統工芸を受け継ぐ反面、2018年オープンの市民交流センター「ミライエ」では、指定管理者制度による新しいスタイルの図書館が市民の学びと憩いの場に。その後は稲田邸跡、菩提寺の貞真寺を巡り、美馬市議会の皆さんとざっくばらんに意見交換会。近々の再会を約束し、帰途につきました。(2月19日)

次号より

表紙の写真を募集します!

募集内容

- 年4回(1月、4月、7月、10月)発行の「すもと市議会だより」の表紙を飾る、市内で撮影した四季折々の風景、町並み、名所、イベントなどの写真。
- 応募者本人がおおむね1年以内に撮影した未発表のもの。
- 応募資格は不問。1回2点まで。
- 応募用紙を市議会ホームページよりダウンロードいただき、必要事項を記入のうえ、提出ください。

提出・問い合わせ

洲本市議会事務局

住所: 〒656-8686

洲本市本町三丁目4番10号

電話: 0799-22-3334

メール: gikai@city.sumoto.lg.jp

所管事務調査

市議会では、議会が閉会中、それぞれの委員会が所管する事業について、報告を受け調査をしています。調査内容をお知らせします。

総務常任委員会

るるぶキッチンで魅力発信

企画情報部より、町内会との共助について、島内外への魅力発信事業。総務部より、消防車両の計画的な更新。財務部より、軽自動車税の状況。五色総合事務所より、分譲地の販売促進などについて報告を受け、事業内容を調査しました。

魅力発信事業では、東京都新宿区に6カ月間限定で「SUMOTO STAND BYるるぶキッチン」を運営しており、テイクアウトを中心としたメニューで洲本の食材を調理し提供している、との説明を受けました。(1月22日)



▲首都圏での魅力発信基地

教育民生常任委員会

おやじプロジェクトに、集まれ！

市民生活部より、国民健康保険標準保険料算定。健康福祉部より、新型インフルエンザ等対策行動計画。教育委員会より、未来を奏でる吹奏楽応援事業、すもとっ子MANABIプロジェクト、(続)おやじプロジェクトについて説明を受け、事業内容や進捗状況、今後の予定を調査しました。その後、旧鮎原診療所、教育センター、洲本給食センター、リサイクルセンターみつあい館を現地調査し、現状を確認しました。(1月21日)



▲みつあい館

産業建設常任委員会

進む市道や ほ場整備

産業振興部より、新規就農者総合支援事業、農業基盤整備(ほ場整備)。都市整備部より、市道認定(市道下内膳線、愛宕支線、宇山石ヶ谷支線)、炬口ポンプ場整備事業について説明を受けました。

現地調査として、塔下地区・大宮地区のほ場整備、鳥飼漁港埋立工事、市道下内膳線、愛宕支線、宇山石ヶ谷支線の現状や、事業予定地を確認しました。(2月10日)



▲塔下地区で進む、ほ場整備

議会運営委員会市政調査

1月29日

大分県佐伯市

佐伯市では議会の政策立案能力を高め、議会自ら条例制定や政策提言を行うことを目指して議員政策研究会を設置。これまで、空き家や公共交通などに絞り研究を重ね、政策提言に結びつけてお

り、その手法について学びを深めました。

1月30日

大分県豊後大野市

豊後大野市では、決算審査と並行し、各委員会で事務事業評価を行い、議会の意思として執行部に提案し、その提案対応の報告を求めることで議会

提案の実効性を高めていきます。議会として、意思を示す事例を学びました。



議員研修

「庚午事変」はなぜ起こったのか。

厳島神社宮司

浦上雅史氏

◆1月24日

事後150年の節目の今年、洲本の歴史が大きく変わった庚午事変について詳しく聞きました。

江戸時代の終焉、武士社会の悲劇的な結末。洲本の町から武士の歴史が消えた古の日に、想いを馳せました。

「年寄り呆けと認知症」

洲本伊月病院 院長

岡田雅博氏

◆2月17日

認知症とは脳障害によって細胞が死に、認知機能

が低下する状態で、2005年に薬が開発されたが以後新薬はなく、親がなれば発症の可能性があるそうです。知的活動と運動を心がけ、生活習慣病にならないよう備えが必要と、結ばれました。



6月定例市議会の予定

6月5日(金) 常任委員長会
6月9日(火) 議会運営委員会
議会報編集特別委員会
6月12日(金) 本会議 (第1日)
6月16日(火) 本会議 (第2日)
6月17日(水) 本会議 (第3日)

6月18日(木) 本会議 (第4日)
6月19日(金) 常任委員会
6月22日(月) 常任委員会
6月23日(火) 常任委員会
6月24日(水) 予備日
6月25日(木) 本会議 (第5日)

編集後記

市議会だより「みんなのぎかい」は、6名の委員で構成する特別委員会を設置して作成しています。◆編集にあたっては①より分かりやすく親しみを感じていただけるようにする②早く届けるため定例会が閉会した翌月に発行③議員自ら原稿を作成し編集する。この3点を大切に、知恵を出し合いながら編集発行しています。◆読みやすい紙面づくりに、見出しや写真を大きくし、思い切った文字数も減らしました。◆議会と市民との距離感を近づけるため、市民の登場を増やしました。議会報告会や意見交換会なども実施し、寄せられた意見なども紹介してきましたが、身近に感じていただけましたでしょうか。◆これからも市民と市議会を結ぶ大切な役割を果たしてまいりますので、ご意見をお寄せください。(間森)

行政視察の受け入れ状況（平成31年4月～令和2年3月）

月日	議会名	調査内容
4.15	兵庫県南あわじ市	会議システムの導入及び運用
4.18	兵庫県豊岡市	議会ICT化推進事業
4.22	京都府京丹後市	文書共有システム並びにタブレット端末を使用した議案調製並びに議会運営
5.9	徳島県鳴門市	①議会のペーパーレス化 ②新庁舎における議会機能
5.17	茨城県守谷市	子育て応援事業
7.31	福島県いわき市	移住・定住促進事業
10.9	徳島県三好市	アスリートネットワークプロジェクト
10.10	福岡県筑紫野市	再生可能エネルギーの活用
10.16	岩手県大船渡市	エネルギーパーク洲本の取り組み
10.25	津山圏域議長協議会	議会におけるタブレット端末導入の効果と課題
10.29	兵庫県淡路市	議会ペーパーレス化
11.1	兵庫県小野市	全天候型陸上競技場の整備
11.7	長崎県吉岐市	再生可能エネルギー全般
11.13	福井県あわら市	移住定住推進事業
11.14	青森県青森市	農業について
11.20	福島県会津若松市	あわじ環境未来島構想における洲本市の取り組み
11.25	青森県弘前市	移住定住促進事業
1.16	大阪府岬町	ウェルネスパーク五色の運営
1.22	福岡県筑後市	エネルギーパーク洲本
1.28	茨城県結城市	魅力創生課の取り組み
1.28	熊本県宇土市	議会ICT化の取り組みと議会運営全般
1.31	千葉県習志野市	地域貢献型再生可能エネルギー事業
2.4	神奈川県寒川町	洲本市食育推進計画 生活習慣病の発生や重症化の予防
2.6	千葉県野田市	エネルギーパーク洲本

本市では、全国各地の地方自治体の議会から、行政視察を積極的に受け入れています。他の自治体と情報交換ができ、本市の取り組みに対して意見をいただけるなど、行政視察は議会活動の向上に役立っています。

全国から行政視察に来訪



政務活動費・議会交際費の公表

政務活動費は、地方議員の資質の向上を図り、地方議会の活性化を図っていくため、地方自治法に規定され、地方議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。

本市では、条例により議員1人当たり年額15万円（月額12,500円）を、会派へ年度当初に交付しています。そして、年度末に1年間の収支報告書などを提出することが義務付けられており、その時点で交付された政務活動費に残余がある場合は、市へ返還することになっています。

議会交際費は、市議会の円滑な運営を目的として、議長などが市議会を代表して外部の関係者と良好な関係を築くために、特に必要と認められる経費です。

2019年度 政務活動費執行状況

（単位：人、円）

会派名	議員数	交付額(A)	執行額(B)	(B)の内訳								返還額(A)-(B)
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	
宙(おおぞら)	9人	1,350,000	1,349,446	1,349,446	0	—	0	0	0	0	0	554
「志(こころざし)」	4人	600,000	597,495	477,495	120,000	—	0	0	0	0	0	2,505
日本共産党	3人	450,000	377,880	0	377,880	—	0	0	0	0	0	72,120
公明党	2人	未申請	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		2,400,000	2,324,821	1,826,941	497,880	—	0	0	0	0	0	75,179

※広報費については、市議会の申し合わせにより使用しないこととしています。

2019年度 議会交際費執行状況

区分	祝金	弔慰金	見舞金	会費・負担金	接遇費	手土産品代	寸志	その他	合計
件数(件)	2	6	0	28	0	12	2	8	58
支出額(円)	15,000	31,000	0	345,000	0	61,752	20,000	61,710	534,462

就任あいさつ



議長 柳川 真一
副議長 先田 正一



市民の皆さまには、平素より市議会及び議員活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、私どもは、3月定例市議会におきまして、洲本市議会議長並びに副議長の要職を担うことになりました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。

さて、本市を取り巻く環境は毎年変化しております。厳しい財政状況の中で、少子高齢化社会に対応した、教育・子育て、文化・観光、健康・福祉、防災・減災対策など、様々な分野において解決しなければならぬ課題が山積しております。

そのため、市議会は、この数多くの課題をしっかりと見据え、二元代表制の下で担うべき役割を常に意識し、市民の皆さまの負託と信頼に応えるべく、全力を尽くしてまいります。今後とも、市民の皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

新しい議会構成

議長 柳川 真一 副議長 先田 正一 監査委員 上田 昌孝

常任委員会は、各部局に属する予算や条例などの議案、請願などを審査し、また、その事務に関することを調査します。委員と担当部局は下記のとおりです(◎は委員長 ○は副委員長)。

総務	◎地村 耕一良 ○高島 久美子 近藤 昭文 中野 睦子 木下 義寿 先田 正一
	(企画情報部) 秘書、広報、総合戦略、CATV、ふるさと納税、企業誘致、定住促進など (総務部) 庁舎管理、人事、消防、防災、財産管理、由良支所、上灘出張所など (財務部) 財政、行政改革、契約、市税、収納対策など 五色総合事務所、会計課、選挙管理委員会事務局、議会事務局、監査委員事務局など

教育民生	◎清水 茂 ○小野 章二 柳川 真一 間森 和生 木戸 隆一郎 福本 巧
	(市民生活部) 戸籍などの証明書、年金、ごみ、リサイクル、市民相談、人権など (健康福祉部) 福祉、子育て、介護、国民健康保険、健診、診療所、保育など (教育委員会) 幼稚園、小学校、中学校、給食、公民館、図書館、文化史料館、洲本市文化体育館、五色台運動公園、文化財、スポーツなど

産業建設	◎氏田 年行 ○狩野 揮史 小松 茂 片岡 格 笹田 守 上田 昌孝
	(産業振興部) 農業、林業、漁業、商工、観光など (都市整備部) 市道、市河川、下水道、市営住宅、都市計画など (農業委員会事務局) 農地の権利移動などの委員会運営

議会運営委員会	◎小松 茂 ○近藤 昭文 中野 睦子 木下 義寿 狩野 揮史 氏田 年行
	議会の運営、会議規則、委員会条例などを審査し、円滑な議会を営むための委員会です。また、議長の諮問機関としての役割も担っています。

議会報編集委員会	◎間森 和生 ○木戸 隆一郎 中野 睦子 高島 久美子 狩野 揮史 氏田 年行
	定例市議会ごとに発行される市議会だよりの編集と、よりよい紙面づくりのための調査研究を行っています。